

講義名	対19～心理学演習（消費者心理）/15～販売広告心理学			授業形態	
担当教員	森藤 ちひろ / 森藤 ちひろ		開講期・曜日・時間	前期集中 日曜日 その他	
	単位数	2	履修開始年次	3年生	ナンバリング

主題と概要

【集中講義 8月4日（木）、5日（金）、8日（月）の1～5時間です】
この科目は、「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためです。時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に参加してください。なお、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生は、「対面型」授業に遠隔（ライブ・オンライン）で参加してください。集中講義のため、授業終了後から次の日の授業までに実施していただく課題があります。必ず、課題を行う時間を確保して受講してください。

【主題と概要】
本講義では、講義と演習を通して、マーケティングと消費者心理の関係を実践的に学びます。講義の部分では、日常生活で消費者が接触するマーケティング・コミュニケーションはどのようなものがあり、それは消費者にどのような影響を与えているのかについて、消費者心理学、消費者行動論、広告論、マーケティング・コミュニケーション論などの理論を用いて理解を求めます。演習では、具体的な事例に対する消費者心理の調査の設計、実施、集計、分析を行い、一連のプロセスを習得します。また、その調査結果を基にマーケティング・コミュニケーションの戦略を立案します。

到達目標

学生は、消費者心理を理解するために必要な基本的な理論を説明できる。
学生は、消費者心理の調査結果を基に、有効なマーケティング・コミュニケーションが立案できる。

提出課題

中間プレゼンテーション、中間レポート、最終プレゼンテーション、期末レポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

講義内で教員がフィードバックを行います。

評価の基準

中間プレゼンテーション20%、中間レポート30%、最終プレゼンテーション20%、期末レポート30%で評価します。全ての課題の提出が単位修得の条件です。講義内での発言やグループおよび個人での発表など、講義への積極的な参加に対し加点をします。

履修にあたっての注意・助言他

現代では、消費者はさまざまな広告をはじめとするマーケティング・コミュニケーションと日々接触しています。自分の身の回りにおけるマーケティング・コミュニケーションを注意深く観察してみましょう。それらに対して自分や他の消費者はどのように反応し、どのような行動をとっているのかについて考察してみましょう。

本授業は講義と演習を行います。講義は配布資料を用いて進めます。演習は課題のアウトプットが中心となります。予習・復習、自宅での作業時間を確保して受講して下さい。受講生の理解度に合わせ、内容や順番を変更することがあります。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

適宜、プリントを配布します。

【参考図書】
石橋徹編著（2019）『マーケティング・コミュニケーションと広告 第2版』八千代出版。
岸志津江、田中洋 編著和江春（2008）『現代広告論（新版）』有斐閣。
杉本徹雄編著（2012）『新・消費者理解のための心理学』福村出版。
杉本徹雄編著（2013）『マーケティングと広告の心理学』朝倉書店。
山田一成、池内裕美編著（2018）『消費者心理学』勁草書房。

授業計画

1. マーケティングとマーケティング・コミュニケーション
2. ブランド戦略と消費者心理
3. 新製品開発と消費者心理
4. 広告戦略と消費者心理
5. 広告 / マーケティング・コミュニケーションの実際
6. 広告計画と効果の測定
7. クチコミのマーケティング
8. 中間発表
9. 事例分析
10. マーケティング・リサーチ(1)
11. マーケティング・リサーチ(2)
12. 調査の分析
13. マーケティングコミュニケーションの立案
14. グループ発表
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

白項目にする企業のマーケティング活動に興味を持ち、自分や他人が消費者としてそれらをどのように感じ、どのような行動をしているのかを観察し、記録してください。参考図書や関心のある関連書籍に目を通して下さい。

【予習】次回で取り扱うテーマについて情報収集し、出された課題について実施すること

【復習】配布プリントと講義内容を参考に、自分の言葉で講義内容を要約すること

自らの予習・復習、課題に十分な学習時間を確保し、授業では主体的に学んでください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、本学ディプロマポリシーにある「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において講義を構成しています。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

Respon（課題等のコミュニケーション）を利用できるように準備をしておいてください。ResponはWebでも利用可能です。

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルスの感染状況によって授業形態が変更になる可能性があります。大学および担当教員からの連絡は、必ず確認してください。コロナウイルスへの感染や濃厚接触者になるなど一時的に通学困難になった場合は、「対面型」授業に遠隔（ライブ・オンライン）で参加してください。